

《魅力ある美浜区づくり》

《海と緑の街》の写真募集!

【仮称・美浜区文化遺産創造計画】第1段

千葉海浜地区の埋め立て、入居から現在までの【街】の変化や風物、海辺や公園の四季の美しさを、未来の子供たちに伝えるため、皆さんから「写真」を募集します。海浜地区をテーマとして、これから撮られるデジカメの写真データも歓迎します。(募集の趣旨は、3ページ参照)

採用された写真をもとに、平成25年初めに『写真集』発行のうえ、市内の図書館や小・中学校に寄贈するほか、写真を採用させて貰いた方にはお礼として1冊を贈呈します。

尚、採用された写真は、将来、美浜区のホームページで閲覧できるようにする事も検討しています。

この企画は【仮称・美浜区文化遺産創造計画】として平成23年度千葉市<魅力ある美浜区づくり>の助成を受けました

磯辺街づくり研究会

平成23年度<魅力ある美浜区づくり>《海と緑の街》写真募集要領

街を雄弁に語る写真を…未来の子に伝える

撮影場所： 美浜区内（磯辺、打瀬、幕張西、真砂、高洲、高浜、稻毛海岸、幸町、新港）

テー マ： 「わが街」の変遷を示す古写真、京葉線開通の喜び、楽しい年中行事、「公園・海辺」や「お気に入りの場所」の表情や四季の彩り、街の風物、花鳥風月など海浜地区の写真であれば何でも結構です

応募作品： ◎デジカメ撮影データ、ネガ・フィルム、リバーサルフィルム、紙焼き写真。
◎撮影年月、場所、作品の説明、氏名、住所、連絡先TEL、E-mailを書添えてください。

募集期間： 第1次 = 平成23年10月～平成24年3月末日まで

第2次 = 平成24年4月～平成24年12月末日（最終予定）

写真集発行： 平成25年3月 発行。A4版、約100ページ、掲載する写真約150枚を想定

*平成24年実施の「写真巡回展」「写真集編集」等をサポート頂ける方もお申し出ください。

ご 注意： 応募された写真は、原則「著作権フリー」とします。お申し出により打ち合わせのうえ、印画紙に焼き付けられた写真やフィルムからスキャナで読み取ります。なお、人物が大きくなっている作品は、プライバシー保護に十分ご注意ください。（採用できない場合もあります）
*仮称・写真集編集委員会で採否が確定次第、応募された方にお知らせします。

連絡先： 磯辺街づくり研究会 企画グループ TEL：043-277-4032（橋）

E-mail：isobe-com@support.email.ne.jp

*デジカメなどの画像データは、「メール添付」でお送りください。

*「写真巡回展」、仮称・写真集《海と緑の街》編集をサポートして頂ける方もお申し出ください。

戦前の稻毛海岸（絵はがき）



検見川海岸の打瀬船（新井英夫氏作）昭和30年頃



花時計（花の美術館）



稻毛海岸（ヨット帆走）平成2年頃



幕張海浜公園（見浜園のコイ）



海浜市民運動広場のサクラ（磯辺3丁目）



浜田川（中瀬1丁目）



メッセとビル街（中瀬2丁目）



【仮称・美浜区文化遺産創造計画】による写真公募の趣旨

◎《海と緑の街》の何気ない日の写真から、街の魅力を再発見しよう！

*海と緑の美しい美浜区は、約62,900世帯、約15万人が住む街です。3.11の大震災による液状化を目のあたりにして元は海だったと再認識ましたが、魚介や海草が採れる広大な遠浅で「打瀬船」が漁をする豊穣の海だった事は、ほとんど知られていません。

*昭和40年代には、干潟の埋立造成により誕生した人工の街へ希望に燃えて一斉入居。【千葉都民】と称された第一世代も今や高齢となりましたが、入居後の日々辛苦した時代の事や街の変遷の記録もなく、記憶も薄れがちです。

東京湾岸屈指という長大で魅力一杯の人工海浜の、朝夕の美しさや街の風物、花や野鳥への関心も薄く、また、誇るべき伝統もないためか、ともすれば日々のうるおいも乏しく、街への誇りや地域としての絆もなかなか生まれ難い有様です。

◎《海と緑の街》の風物写真は歴史の証人

*次代を担う子ども達にとって、この街はふる里です。美しい緑と輝かしい海に面した人工の街の生い立ちや第一世代入居直後など、時代の推移を伝えるには多くの文章より写真が適しています。現に、学校統廃合によりいずれ廃校となる学校もあることや直近の大地震による被災を含め、過去から現在までを語り伝える立場にある人々の記憶が薄れる前に、まとめて記録する必要があります。

◎お手元で保管中の古いフィルムの、劣化がはじまる前に

*例えば、30年前に想いを込めて撮影した大切なフィルムでも、今や劣化が始まっている間に差し掛かっています。応募頂いた作品は、スキャナによりデジタル画像に変換して『写真集』用のデータとして当方で保存。もちろんお預かりした<大切な写真やフィルム>は、お手元へお返します。

◎海浜地区の花鳥風月、風物写真を「仮称・美浜区文化遺産」として未来の子に

*優れた写真、貴重な記録写真をまとめて『写真集』を発行。市内の図書館や小・中学校に寄贈し、「千葉海浜ニュータウン」の誕生から現在にいたる過程について、次代を担う子ども達の理解を深めます。

*採用された写真は、いずれ美浜区ホームページに「仮称・美浜区文化遺産」として保全し、いつでも誰でも閲覧でき、美浜区の街並の変遷を辿ることも容易になるという、2~3年に及ぶ大事業です。

*「写真集」発行には、多くの人々の協力が必要ですが、このような活動から、街の記憶がよみがえり、共通の話題をとおして、親と子、お隣さんとの間に新しい【絆】が生れることも期待されます。

(次ページの、これまでの経緯と今後の予定もご覧ください)

(連絡先メモ) 応募頂ける方は、切り取ってご保管ください。

仮称・写真集《海と緑の街》写真<募集>

第1次募集=平成23年10月～平成24年3月末

連絡先：磯辺街づくり研究会 企画グループ

TEL: 043-277-4032 (橋)

E-mail : isobe-com@support.email.ne.jp

仮称・写真集《海と緑の街》写真<募集>

第1次募集=平成23年10月～平成24年3月末

連絡先：磯辺街づくり研究会 企画グループ

TEL: 043-277-4032 (橋)

E-mail : isobe-com@support.email.ne.jp

◎これまでの経緯と今後の予定

平成23年1月	◎新井氏より、旧検見川海岸の写真を《海と緑の街/誕生写真集》使用の快諾を頂く
2月	◎千葉市立郷土博物館へ新井寄贈の写真フィルムのデータ提供に付同館の承認を得
3月	◎東日本大地震により埋立地・美浜区に液状化現象発生。元は海だったと、再認識
6月	◎「いそべ」第23号(液状化・防災特集)発行。地域の絆、連携の大切さを説く ◎人工の街の来歴を《海と緑の街/誕生写真集》、かたり部養成等により、未来の子どもも長く伝え・遺す仕組みづくりを起案。仮称「美浜区文化遺産創造計画」と呼ぶ
7月	◎千葉市美浜区の「魅力ある美浜区づくり」支援事業に応募。採択され、同助成金をもって、仮「美浜区文化遺産創造計画」推進準備事業を開始
10月	◎磯辺地区全自治会を通じ、仮「美浜区文化遺産創造計画」第1段《海と緑の街/誕生写真集》発行のため、古写真や街の魅力再発見につながる写真公募案内を「回覧」 ◎第1次写真公募開始(美浜区役所にチラシ懸架、公民館等にチラシ配布)
11月	◎(財)トヨタ財団2011年度地域社会プログラム企画書提出(予算340万円の内300万円) ◎千葉市民活動フェアinきぼーる2011 参加(18~19日)収集写真の一部を展示 ◎街の変遷を示す写真、地域の魅力再発見の写真公募のチラシ配布
平成24年3月	◎仮「美浜区文化遺産創造計画」プロジェクト、発足会議 ◎第1回展示会/美浜区役所1F(予定) ◎第1次写真公募締め切り
4月	◎写真集編集ワーキンググループ 発足会議①/ ◎第2回巡回展示 第2次写真公募開始/編集センターも募集
5月	◎《緑と海の街》写真集づくりプロジェクト総会/撮影実技ワークショップ開催
6月	◎第3回巡回展示/《緑と海の街》写真集発行費の募金 (写真の採用、または写真集発行資金をご寄付頂いた方に各1冊贈呈予定) ◎千葉市美浜区の「魅力ある美浜区づくり」支援事業に応募。
7月	◎住民、高校・大学生を交えたワークショップ<テーマ:美浜区の魅力発信>開催
8月	◎写真集編集ワーキンググループ会議②...文字データ収集・検証
9月	◎第4回巡回展示/《緑と海の街》写真集発行費の募金 (写真の採用、写真集発行資金をご寄付頂いた方には各1冊贈呈)
10月	◎写真集編集ワーキンググループ会議③...文字原稿、略年表等の確定
11月	◎第5回巡回展示/撮影実技ワークショップ開催/写真集発行基金の募金PR
12月	◎第2回写真公募締切(最終)...文字原稿/追加・差替え最終分チェック
平成25年1月	◎写真集編集ワーキンググループ会議④/月末:完全原稿完成
2月	◎《緑と海の街》写真集発注～色校正・納品～(3月=市内の小・中学校や図書館等へ寄贈)
3月	◎仮「美浜区文化遺産創造計画」報告会開催。事業報告書作成。(次年度計画策定)
5月	◎写真データの美浜区ホームページ寄託・保全(予定)
6月	◎千葉市美浜区の「魅力ある美浜区づくり」支援事業に応募。 ◎千葉市美浜区の「魅力ある美浜区づくり」支援事業に応募。
9月	◎仮称「千葉の海辺の物語」ストーリー編集。「かたり部」養成、CD作成など
10月	
11月	
12月	